

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	嚥下障害患者の誤嚥に関連する因子の包括的調査 [倫理審査受付番号：第 5041 号]
研究責任者氏名	道免 和久
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025年 6月 9日 ~ 2028年 3月 31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：嚥下障害 / 診療科名等：リハビリテーション科 嚥下造影検査を受けた18歳以上の患者さん
	受診日：西暦 2021年 1月 1日 ~ 2025年6月9日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ()
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他 ()
研究目的・意義	嚥下障害者の数は、地球規模で進行する人口の高齢化によって世界的に増加傾向にあります。嚥下障害は低栄養や誤嚥性肺炎、身体機能低下などのリスクとなるため、その現状を把握する事は今後の対応策を検討する上で非常に重要です。これまでに嚥下障害は嚥下関連筋力、発声発語機能、身体機能との関連はそれぞれ個別に調査されてきましたが、これらを包括的に検討した研究は少なく、明確な知見は得られていません。本研究では、嚥下障害によって生じる誤嚥の有無に関連する要因を多角的に捉えるため、嚥下機能評価に加えて、発声・発語機能、全身の身体機能評価を組み合わせた包括的アプローチを用いて検討を行います。これらが明らかになることで、誤嚥を予防する介入やリハビリテーションプログラムを検討する際の一助となると考えます。
研究の方法	入院してから通常の診療が行われた過程で得られた基礎的な情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、医学的診断名、併存疾患、在院日数、気管切開の有無、麻痺の有無、悪液質の有無、認知機能低下の有無）や、リハビリテーション実施時の身体機能評価（骨格筋量評価、握力、臨床的体幹機能検査、呼吸筋

	<p>力、栄養状態の評価)、発声発語機能評価(最長発声持続時間、最長呼気持続時間、Peak cough flow、Laryngeal diadochokinesis、Oral diadochokinesis)、嚥下機能評価(改訂水飲みテスト、水飲みテスト、反復唾液嚥下テスト、最大舌圧、開口力、最大頭部挙上反復回数、最大頭部挙上維持時間、頸部屈筋MMT、GSグレード、咳テスト、Functional Oral Intake Scale、Food Intake Level Scale、Dysphagia Severity Scale)をカルテより収集します。また嚥下造影検査動画を用いて、誤嚥の有無や嚥下動態を解析します。嚥下造影検査で得られた結果から、誤嚥群と非誤嚥群に分け、身体機能評価、発声発語機能評価、嚥下機能評価を比較します。</p>
個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工したうえで、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する連絡先	<p>診療科名等：リハビリテーション技術部 担当者氏名：栄元 一記 [電話] (平日 9時00分～17時15分) 0798 - 45 - 6358 (上記時間以外) ka-eimoto@hyo-med.ac.jp(平日・休日・夜間)</p>